

「第3回自律移動支援プロジェクト推進委員会」のポイント

1. 平成16年度プレ実証実験（資料6）

平成16年10月から平成17年1月までの間、旧居留地京町筋日銀前交差点及びさんちか（地下街）において、ＩＣタグ等の通信機器15機種の通信実験を行うとともに、実験を通じ、通信機器の逐次改良。

2. 平成17年度本格実証実験の進め方（資料7・8・9）

（1）通信機器の設置

本年3月末までに、新神戸駅、三宮駅、旧居留地、市役所、六甲アイランドなどのエリアにおいて、プレ実証実験で性能確認した通信機器・インテリジェント基準点約2万個を設置。引き続き、来年度は市民の方々の協力を得て、民間店舗情報などについてのＩＣタグ等を順次設置予定。

（2）コンテンツの入力

新神戸駅から三宮駅、フラワーロード、京町筋、メリケンパーク旅客線ターミナル（かもめりあ内）の3箇所を「重点エリア」として先行的にコンテンツ等を整備。3箇所の重点エリアにおいて、5月中に本格的な実証実験に着手。その他のエリアについても、引き続き6月末までにコンテンツの入力を完了予定。

（3）実証実験・モニター調査の実施

コンテンツ入力後、情報提供内容・通信確認を実施した上で、本年6月から、神戸市を中心に募集する市民モニターの方々、専門家、学識者、行政関係者からご意見を聴取。あわせて、通信機器の性能・耐久性等について、技術検証を実施。また、昨年度実施したプレ実証実験を踏まえ、その後、新たに開発された通信機器等についてもプレ実証実験を継続。

（4）各種イベントとの連携

神戸で8月に開催される「チャレンジド・ジャパン・フォーラム（ＣＪＦ）国際会議」、「ユニバーサルデザイン全国大会」などと連携し、本プロジェクトについて理解を深めて頂く。

（5）技術仕様書（ドキュメント）の策定

平成18年度以降、全国各地に展開ができるよう、共通プラットフォームとなる通信機器、通信方式、データベース、機器の設計施工及び管理、セキュリティポリシー等に関する技術仕様書を平成17年度中に策定。

3. 関係省庁・地方自治体との連携（資料7・参考資料1）

（1）関係省庁

別添資料のとおり（資料7）

（2）万博会場、東京都、青森県での展開（参考資料1）

愛知万博会場で実証実験を実施予定。コンテンツ作成段階から、ユーザーの意見を反映し、システムを構築中。本年5月から国内外の多くの方々に体験頂く予定。

また、東京都と連携し、上野公園の広場空間などで情報提供方法を検証するとともに、青森県と連携し、積雪寒冷地域での通信環境を検証し、システムの構築に反映。

4. 専門委員会の設置（資料8）

（1）場所情報検討専門委員会の設置

それぞれの場所に応じた情報をネットワーク上のデータベースからの確に取得するために必要となるＩＣタグの識別番号（場所コード）の付与方法などについて検討を行うため、「場所情報検討専門委員会（大石久和東京大学大学院情報学環ＣＯＥ教授）」を平成17年2月15日に設置。引き続き、本格実証実験の知見などをもとに、場所コードのあり方、インテリジェント基準点との連携等について検討を行う。なお、第1回委員会において、本実証実験においてはＩＣタグ等の識別番号として「Ｕコード」を使用することを確認。

（2）セキュリティポリシー検討専門委員会（仮称）の設置

本システムの運用にあたってのセキュリティ、情報の知的所有権、個人情報保護等について検討を行う「セキュリティポリシー検討専門委員会（仮称）」を平成17年度早々に設置する。